



特集

## 令和8年度の 予算をしっかりとチェック！



1月臨時会では、物価高騰の影響を受けた生活者等に対する支援として、1人あたり6,000円分のチケットが配布される、お買い物割引チケット事業に関する補正予算のほか、水道料金の基本料金の減額に関する補正予算、大阪府知事選挙及び衆議院議員総選挙に関する補正予算について審議し、いずれも可決しました。詳細は8ページをご覧ください。



議場風景（令和8年2月19日）

## 令和8年3月定例会を開催



令和8年第1回定例会を2月19日から3月25日までの35日間の会期で開催しました。

開会初日には、市長より市政運営方針が披瀝され、各会派を代表し、6人の議員が大綱質疑を行った後、上程した議案については各委員会へ付託し、慎重に審査を行いました。

令和8年度当初予算は、市制施行70周年を祝う各種記念事業等を含めた内容で編成されています。

また、今定例会では、青少年の家改修に係る工事費を含む一般会計補正予算（8号）や、和泉市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定等について審議しました。

—目次—

大綱質疑	2
令和8年度予算審査概要	4
会議の結果	7
臨時会	8
委員会報告	9
一般質問	10
次回定例会の予定等	12



## 明政会



### 南部地域の公共交通について

坂本 健治

**Q** 南部地域でのバス減便等による移動困難は深刻である。シェアサイクルの南部展開や導入エリア、チョイソコいずみの増便やエリア拡大の方針を問う。

**A** バス減便が深刻な中山間地域において、多様な交通モードの乗継拠点整備のため、モビリティハブの実証実験を行う。実証の際は、商業施設の協力を得て、南部地域の補完的役割を担うシェアサイクルの導入を検討する。また、南部

地域のチョイソコいずみは路線バス廃止以降、利用者の増加に伴い予約が取りにくい時間帯があり、今後の利用実態を踏まえ、持続可能で利便性の高い公共交通体系を検討する。

**意** 市政運営方針全体の優先順位や財源の裏付けの明確化を求める。物価高騰対策の恒久化、実効性のある避難所体制、保育の待遇改善、国道170号の4車線化や下水道整備等について、単年度ではなく中長期的な財源見通しを伴った計画的実施が不可欠である。限られた財源を有効活用し、事業の選択と集中を徹底した、より実効性の高い市政運営を望む。

## 日本共産党



### 「泉北環境の施設更新」 「学校給食の無償化」 早乙女 実

**Q** ①「泉北環境の施設更新」は、防災や運搬の問題等から高石市臨海地域でなく現地建て替えすべきと思うがどうか。

②「学校給食の無償化」は、小学校は国・府の支援に加え、市独自の追加支援で無償化を実施する一方、中学校給食への対応は、値上げ必要分への補助とのことだが、中学校給食について、令和11年度実施でなく、早期無償化はできないか。

**A** ①泉北クリーンセンターの新施設の候補地は、令和7年10月29日の泉北環境整備施設組合議会議員全員協議会で示された整備方針に従い、和泉市議会等での意見も踏まえ、総合的に勘案し最適な事業となるよう進める。

②中学校給食の無償化は、令和11年度に実施予定で、また、国の方針変更に伴い、小学校給食に係る新たな市独自の費用負担措置をしているため、さらなる前倒しはできないと整理している。

**意** ①議員・会派からの意見を十分検討し対応するよう要望する。  
②他の自治体では、無償化を実施していることもあり、検討すべきと考える。

## 公明党



### 令和8年度 市政運営方針を受けて 大坪 靖

**Q** ①防犯灯の電気料金について、現行の半額補助から全額補助に拡充となる。新たに防犯灯を設置する場合、設置補助はあるのか伺う。②景観の向上と交通の安全を確保するため、大木化した樹木の伐採が必要とされるが、対象となる地域及び計画を伺う。③5歳児健診の実施により発達障がいなどの特性を早期に発見することが可能となり、就学前に適切な支援や療育に繋がり、保護者の不安を少しでも和らげることができる。

いつから実施する予定か問う。

**A** ①市内の犯罪の誘発防止を図り、安全・安心なまちづくりの推進のため、防犯灯1灯につき2万5,000円を限度とした額を補助する。②鶴山台本線や光明池春木線など大木化が顕著な路線を「優先適正化路線」と定め、今後10年間で現在の約9,000本の高木を約7,000本程度に削減する。伐採後は必要に応じ、補植等の対応を検討する。③令和8年6月から実施する。

**意** デジタル技術の活用により市民サービスの向上や業務効率化を推進することは評価するが、高齢者に優しい仕組みも検討するよう求める。

※ **意** ……意見・要望など

## ≡ 五月会



令和8年度  
市政運営方針に対して  
関戸 繁樹

**Q** ①今後の人口減少を前提とした「ダウンサイジングの観点」での市政運営について伺う。②電子地域ポイントの用途について、町会・自治会加入者によるスーパーやドラッグストアなどでの日常の買物利用まで対象を拡大する可能性を伺う。③久保惣記念美術館リニューアル計画の内容を伺う。④(仮称)北部総合スポーツ公園の整備方針を伺う。⑤コミュニティ体育館への空調整備について伺う。

**A** ①重要な観点である。歳入歳出の改善、施設や事業の廃止・見直し、他自治体との連携なども検討し、財源や人的資源を効率的に活用して総合力のあるまちをめざす。②町会・自治会加入者に対する継続加入の支援の必要性は感じている。当該ポイントの利用については、その効果や有用性を見極めていく必要がある。③開館50周年(令和14年)に向け、展示室や収蔵庫の増築、設備の更新などの工事を計画している。④令和8年度から9年度で基本計画を策定し財源も含めて事業規模等を慎重に検討していく。⑤市民体育館に引き続き、整備を検討していく。

**意** ①市長の勇気ある取組に期待する。

## ≡ 市民未来の会



自転車通学路の安全確保と  
大木化する街路樹の適正管理  
大浦 まさし

**Q** ①自転車通学に関する部分では、令和8年4月から規制等も変わってくる中で道路環境整備に注力して下さることに感謝申し上げます。そこで今回「自転車専用通行帯」を設置いただけるとのことだが、どのような表示を想定しているか。②景観の向上と交通の安全を確保するため大木化した街路樹の伐採を計画的に行い、適正な管理を行っていくとのことだが、街路樹に対する理想とするあり方について伺う。

**A** ①令和8年度の光明池春木線の整備区間については府が堺泉北環状線に施工している矢羽型路面表示のデザインに統一し、光明池駅への自転車ネットワークの構築を想定している。②街路樹は、景観向上、交通安全など、様々な機能を有する都市緑化の重要な役割を担うインフラであり、この機能を果たすことが理想的であると考えているが、倒木、枝折れの危険性など様々な問題が表面化している。そこで現在策定中の「和泉市街路樹維持管理計画」に基づき街路樹の適正管理を行っていく。

## ≡ 大阪維新の会



令和8年度市政運営方針  
取り組む主要な事業について  
飯阪 光典

**Q** ①「和泉府中駅前の活性化」「国道170号沿線の土地活用」の具体的方策とビジョンを問う。②小中学校の給食無償化について、小学校給食は令和8年度から実施。中学校給食は、段階的な実施を断念。令和11年度から、中学校全学年で学校給食の無償化の実施を約束できるのか確認する。③槇尾学園にて実施の留守家庭児童会の民間委託について、(仮称)富秋学園での実施以降の展開を問う。④教育と福祉の連携により、

貧困・児童虐待のリスクを抱えるこどもを、どのように早期に把握し、支援に繋げるのか問う。

**A** ①「和泉府中駅前の活性化」は、商店街のリニューアル等を含めた活性化に向け地域と共に機運醸成に取り組む。「国道170号沿線の土地活用」は、制度の見直しやインフラ整備を進める。②中学校全学年の給食無償化は令和11年度の実施予定である。③今後の展開は各校の運営を確認し整理する。④学校情報等からリスク判定を行い、連携の上必要な支援に繋げる。

**意** ①スピード感を持ち各施策を実行し「選ばれるまち和泉」「持続可能なまち和泉」へ向け取り組むことを要望する。

# 令和8年度の 予算をしっかりとチェック!

## 今年度の重点事業は?

### ④ 健康・福祉施策の充実

- PICK UP ● 電子地域ポイント事業【新規】  
● チャレンジオフィスの開設【新規】

### ⑤ にぎわいのあるまちづくり

- お買い物割引チケット事業  
(国の交付金を活用)【新規】  
● 富秋中学校区等まちづくり推進事業  
PICK UP ● 地域交通共創モデル事業【新規】  
● 黒烏山公園整備事業【拡充】

### ⑥ 市制施行70周年記念事業

- 70周年記念式典事業【新規】  
● 70周年市民提案特別記念事業  
(ドローンショーなど)【新規】  
● だんじり曳行事業【新規】  
● 美術館記念事業  
(プロジェクションマッピング、  
ナイトミュージアムなど)【新規】  
● タイムカプセル開封事業【新規】  
● 上記以外の記念事業  
(いずもく製「記念ものさし」、  
公開番組など)【新規】

### ⑦ 他の重点事業

- 水道料金減額による生活支援事業  
(国の交付金を活用)【新規】

### ① 教育・生涯学習環境の充実

- (仮称) 富秋学園整備事業【拡充】  
● 中学校少人数学級編制事業、  
学力向上推進事業【拡充】  
● 小中学校大規模改修事業【拡充】  
● 小中学校大型モニター(次世代型電  
子黒板)整備事業【新規】  
● 青少年の家リニューアル事業【拡充】  
PICK UP ● 池上曾根史跡公園整備事業

### ② 出産・子育て環境の充実

- 医療的ケア機能を備えた民間保育施  
設への看護師配置支援事業【新規】  
● 新設認定こども園整備補助事業  
(中部地域)【新規】  
● (仮称) いずみ国府こども園整備事業  
PICK UP ● 小中学校給食費補助事業【新規】  
● こども家庭相談事業【拡充】  
● 5歳児健診事業【新規】

### ③ 防犯・防災施策の充実

- デイタイム救急隊の設立【新規】  
● (仮称) 防災備蓄倉庫整備事業  
● 防犯灯電気料金の全額補助【拡充】

## 主な質問項目

- ◇ 特別職給料、議員報酬月額等の条例改正について  
◇ 司法書士相談委託料について  
◇ 基幹系システム利用料について  
◇ ガバメントクラウド利用料等について  
◇ ひきこもり支援研修会講師謝礼について  
◇ 電子地域ポイントについて  
◇ がん患者等医療用ウィッグ購入費助成金について  
◇ RSウイルスワクチン妊婦への予防接種について  
◇ 塵芥収集運搬事業について  
◇ 北信太駅前整備事業について  
◇ 消防団出動及び訓練報酬費について

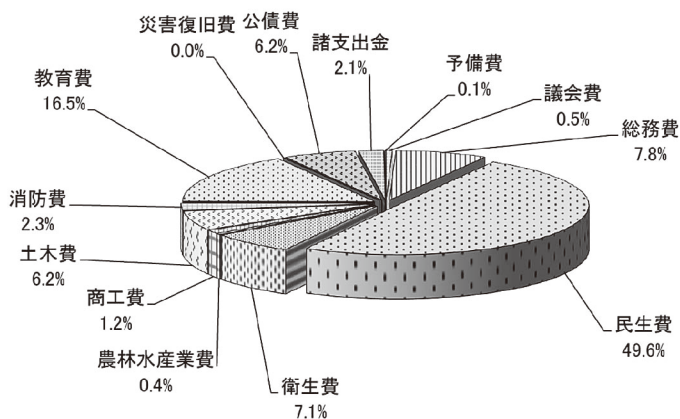
## 予算額 総額約 1,456 億円

区分	予算額（前年度比）
一般会計	904 億円（8.7%）
※1 特別会計	404 億 8,860 万 3 千円（1.2%）
※2 企業会計	146 億 7,182 万 9 千円（5.3%）

※1 国民健康保険事業・公共用地先行取得事業・介護保険事業・後期高齢者医療事業

※2 水道事業・公共下水道事業・公共浄化槽事業・病院事業

令和8年度一般会計歳出【目的別】予算構成比



### PICK UP

#### 電子地域ポイント事業

問 電子地域ポイント事業について、より公平性を意識した制度設計にすべきではないか。

答 公平性の確保は重要と認識しており、今後の制度改善を進める中で、高齢者施策全体として公平性が担保されるよう取り組んでいく。

〈健康・福祉施策の充実〉

1 億 6,032 万 1 千円

### PICK UP

#### 小中学校給食費補助事業

問 小学校給食は、国・府の支援に加え、市独自の追加支援により給食無償化を実施し、中学校給食では物価上昇による差額を市が負担する。今後の市の考えを問う。

答 小学校給食は無償化支援を継続する。中学校給食は、国の動向を注視しつつ令和11年度の無償化実施を予定し、それまでの間の値上げが必要となる分は市が負担する。

〈出産・子育て環境の充実〉

5 億 9,800 万円

### PICK UP

#### 池上曽根史跡公園整備事業

問 令和8年度の整備内容について問う。

答 史跡池上曽根遺跡保存活用計画及び再整備計画に基づき、令和10年度の多目的広場の全面供用開始、令和13年度のリニューアルフルオープンをめざして整備を進めており、令和8年度は主に電灯などのインフラ部分の整備や復元エリアの再設計を行う予定である。

〈教育・生涯学習環境の充実〉

7,220 万円

### PICK UP

#### 地域交通共創モデル事業

問 地域交通共創モデル事業の実証実験の時期、取組内容、期待される効果を問う。

答 令和8年8月から令和9年3月まで、商業施設と連携しモビリティハブの実証実験を行う計画。バス待ち環境や予約機能の整備、交流機会の創出により、市民の外出促進や健康増進、また南部地域への交通機能の補完としてシェアサイクルの導入に取り組んでいく。

〈にぎわいのあるまちづくり〉

2,729 万 6 千円

## 主な質問項目

- ◇ こどもたちの教育に関する予算について
- ◇ 不登校対策支援員会計年度任用職員報酬について
- ◇ コミュニティ・スクールファシリテーター報酬について
- ◇ 学校給食費負担軽減補助金、学校給食無償化補助金
- ◇ 留守家庭児童会の支援員について

- ◇ 史跡池上曽根遺跡整備工事費について
- ◇ 久保惣記念美術館のバリアフリー化について
- ◇ 消防団車両の軽自動車導入の検討について
- ◇ 市立総合医療センターの面会時間の改定について
- ◇ 病院の増築棟寄贈に対する市の見解について

# 予 算 討 論

## 一般計 一会

【賛成】  
①教育・生涯学習環境の充実

本市で3校目となる施設一体型義務教育学校の（仮称）富秋学園の整備や、青少年の家のリニューアルなどに取り組むほか、中学校少人数学級編成事業をはじめとしたさまざまな学力向上施策を進めている。

②出産・子育て環境の充実

令和8年4月に開園する医療的ケア機能を備えた民間認定こども園に対し、看護師配置に係る費用を補助するほか、中部地域における新たな認定こども園への整備補助や（仮称）いずみ国府こども園の整備など、保育環境の充実に取り組んでいる。

③防犯・防災施策の充実

近年の救急需要の増加に対応すべく、平日昼間帯に救急活動を行う「デイタイム救急隊」を設立するほか、町会・自治会などが設置している防犯灯の電気料金について、これまでの半額補助から全額補助に拡充するなど、安全・安心なまちづくりの推進に取り組んでいる。

④健康・福祉施策の充実

障がい者の就労環境向上のため、令和8年4月から「チャレンジジョブフィス」を開設するほか、本市主催の各種教室等やウォーキングコースを歩いた方に対して、買い物などに利用できるポイントを付与する「電子地域ポイント事業」にも取り組む。こ

の「電子地域ポイント事業」は、介護予防の取組として先進的な取組だと思う。より多くの方にポイントが付与される、利用者ニーズに寄り添ったサービスとするべく、継続的な改善に取り組んで欲しい。

⑤にぎわいのあるまちづくり

引き続き北信太駅前整備を進めるほか、多様な交通モードを乗り継ぐ拠点となる「モビリティハブ」を新設し、待ち時間を快適に過ごせる環境づくりやシェアサイクルの実施など、交通機能の強化に取り組んでいる。新たな交流の場の創出だけでなく、商業施設を拠点とした南部地域への交通機能の強化にもつながり、費用対効果の高い事業として、大変期待している。

⑥市制施行70周年記念事業

記念式典のほか、市民提案特別記念事業やタイムカプセル開封事業など、市民とともに70周年を祝うさまざまな事業を計画している。

【反対】

①市の職員数について、増員する方向で対応しているが、他市の自治体平均と比較するとまだ十分とは言えない状況である。さらに、職員採用試験の早期化についても、滑り止めのような要素があるため、貴重な人材を逃している面があるが、改善しようとしていない。

②民営化について、最大の理由は、

直営よりも安くなるということだったが、学童保育については、直営よりも高くなるのが明確になっている。

③デジタル化の問題について、基幹系システムの利用料は以前の2・5倍になるため対策が必要である。また、マイナンバーカードの5年あるいは10年の更新などの相談も多く、今後も国の補助金の増額を含めた要望をしていく必要がある。

④高齢者おでかけ支援を廃止し、電子地域ポイント制度を令和8年度は3月のみ実施予定だが、市民のことを思っている事業なら、令和8年度は高齢者おでかけ支援を実施し、電子地域ポイントの準備をし、令和9年の4月から実施すべきである。

## 議案

和泉市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

【賛成】

特別職報酬等審議会の資料や議事録から、過去の経緯や、社会情勢、本市の状況などを踏まえた審議が行われたものと確認し、答申は議会として尊重すべきと考える。審議会の答申について、議会として増額することを前提に審議会に委ねたわけではなく、減額すべきとの意見が付される可能性もあった。委ねた限りは、

議論を重ねていただいた審議会に敬

意を表し、重要視する立場にあると考える。

【反対】

市民生活においても、食料品やエネルギー価格の上昇により、家計の負担は大きくなっている。昨今の社会情勢と特別職報酬等審議会の答申を勘案したとあるが、市政に関わる施策を決定する側の我々が、率先して報酬をあげることが、市民の理解を得られない。地方自治の根幹は、市民の福祉の向上であり、市民生活が第一である。

## 別計 特会

■国民健康保険事業

【反対】 後期高齢者医療分、介護分の全てで値上げされた。また、

新たに子ども・子育て支援金の納付金のために、さらに保険料金に追加することになった。医療とは異質のものであり、保険料金にプラスするのではなく、別に予算化するべきものである。

■後期高齢者医療事業

【反対】 所得割を少し下げたが、均等割を大幅に増やし、国民健康保険事業と同様に、子ども・子育て支援金の料金も加えられ、1人当たり保険料金は9万5,666円から11万4,122円へと15・41%の増額となった。

# 会議の結果（1月臨時会・3月定例会）

各議員の賛否はこちら  
(3月定例会) ▶



## （1月臨時会）

### ☑ 全員賛成で可決等した議案

- ・令和7年度和泉市一般会計補正予算（第6号）
- ・令和7年度和泉市水道事業会計補正予算（第4号）

## （3月定例会）

### ☑ 全員賛成で可決等した議案

- ・令和8年度和泉市当初予算（公共用地先行取得・介護保険・水道・公共下水道・公共浄化槽・病院）
- ・和泉市事務分掌条例等の一部を改正する条例制定について
- ・和泉市行政手続条例の一部を改正する条例制定について
- ・和泉市廃棄物の減量推進及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・和泉市手数料条例の一部を改正する条例制定について
- ・和泉市都市公園条例の一部を改正する条例制定について
- ・和泉市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について
- ・和泉市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について
- ・和泉市火災予防条例の一部を改正する条例制定について
- ・工事請負変更契約の締結について（（仮称）和泉市立富秋学園整備事業）
- ・公の施設の指定管理者の指定について（和泉市立老人集会所）
- ・和泉市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について
- ・令和7年度和泉市一般会計補正予算（第7号）
- ・令和7年度和泉市公共用地先行取得事業特別会計補正予算（第1号）
- ・令和7年度和泉市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
- ・一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・和泉市附属機関に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・和泉市認定こども園条例等の一部を改正する等の条例制定について
- ・和泉市環境未来共創金条例制定について
- ・【議員提出議案】 予算審査特別委員会設置について
- ・【議員提出議案】 和泉市議会会議規則の一部を改正する規則制定について
- ・【議員提出議案】 和泉市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について

### ☑ 賛否が分かれた議案

- ・【可決】 令和8年度和泉市当初予算（一般会計・国民健康保険・後期高齢者医療）
- ・【可決】 和泉市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・【可決】 和泉市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・【可決】 和泉市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について

# 1 月臨時会を開催

国において「強い経済を実現する総合経済対策」に関連する予算が令和7年12月16日に成立したことを受け、国から示されたエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者等への支援策を早急に実施するための補正予算です。

- 【可決（全会一致）】令和7年度和泉市一般会計補正予算（第6号）
- 【可決（全会一致）】令和7年度和泉市水道事業会計補正予算（第4号）

## お買い物割引チケット事業

市内の消費喚起及び商業活性化を図るため、お買い物割引チケット事業を実施します。1,000円ごとに500円分の割引チケットが使用可能です。

対象者：令和8年4月1日時点で  
住民登録がある全市民

チケット配布額：1人あたり6,000円分  
(500円×12枚)

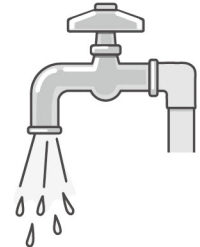
発送：令和8年5月中旬から7月末

## 水道料金の基本料金を減額

国の重点支援地方交付金を活用し、水道料金の基本料金全額を6か月間減額します。

対象者：市民及び事業者（公共施設を除く）

実施期間：6か月間



**問** お買い物割引チケットの配布時期をもう少し早くできないか。

**答** 対象者のリスト化や封入、封緘等の配送処理、過去の状況及び実績などを勘案し、5月中旬に発送開始となる。なお、安全性・確実性に配慮し、ゆうパックでの配送を予定しているが、できる限り早い配布をめざす。

**問** 重点支援地方交付金を活用した今後取り組む事業内容について問う。

**答** 小学校給食の国・府補助額との差額や中学校給食の全学年の値上げ抑制の財源として活用するほか、防犯灯補助金拡充相当額など他の既存事業に財源充当して交付金を活用する予定である。

# 委員会報告

提出された議案を所管の委員会で詳しく審査しました。主な議案審査の内容をお知らせします。

## 総務企画委員会 (3件審査)

### 和泉市事務分掌条例等の一部を改正 (議案第19号)

こどもの健やかな成長・発達を保障し、より安心して子育てしやすい環境を整えるため、保育に関する事務を教育委員会事務局から市長部局へ移管するものです。

**問** 保育に関する事務を平成27年に教育委員会事務局へ移管してからそれほど期間が経過していない中で、再び市長部局へ移管する理由は何か。

**答** 令和8年度から「こども誰でも通園制度」が開始されるとともに、新設される認定こども園では子育て支援事業の実施が必要となる。教育・保育に加え、子育て施策との連携強化が求められることから、保育や子育てに関する業務を市長部局に集約し、安心して子育てできる環境を整えるための体制強化を図るためである。

## 都市環境委員会 (8件審査)

和泉市廃棄物の減量推進及び適正処理に関する条例の一部を改正(議案第21号)

市及び市の受託した者並びに住民団体から集団回収を受託した者以外の者による資源物の持ち去り行為を禁止することにより、適正なりサイクルの推進を図るものです。

**問** 資源物持ち去り禁止の貼り紙について、どのように市民へ周知しているのか。また、条例改正内容についてどのように市民へ周知する予定をしているのか問う。

**答** 資源物持ち去り禁止の貼り紙については、市ホームページにひな形を掲載している。また、条例改正内容については、条例改正の内容や重要性を啓発するため、視覚的に分かりやすいチラシを作成し、市ホームページやSNS、別途条例制定の要望があった和泉市町会連合会とも連携し、周知啓発を図る。

### 和泉市都市公園条例の一部を改正 (議案第23号)

飲食施設等の開設に伴い来園者の増加が見込まれる黒鳥山公園の駐車場について、利便性向上を図るため特別期間における料金加算の方法を見直すなど、所要の規定の整備を行うものです。

**問** 料金加算の方法を変更することによる駐

車場利用者に対する影響を問う。

**答** 料金加算の時間が変更となるが、1時間当たりで比較するとともに300円で変わらないことから、大きな影響はないと考える。

### 和泉市水道事業給水条例の一部を改正 (議案第24号)

建築工事等で一時的に水道を使用する「臨時使用」において、水道料金の滞納防止のため設けている予納金制度について、運用状況等を踏まえ、申請者等の負担軽減を図るため廃止するものです。

**問** 建築工事等での水道の臨時使用は今後も想定されるが、制度廃止後はどのように対応するか問う。

**答** 予納金制度は廃止するが、臨時用の使用用途は残すため、通常の水道料金と同様に、2か月に1回検針した量の料金をその都度請求し、徴収する。

## 厚生文教委員会 (5件審査)

和泉市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例を制定  
(議案第29号)

子ども・子育て支援法の改正に伴い、特定乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)の適正な実施を図るため、内閣府令で定

める基準を踏まえ、その運営に関する基準を定めるものです。

**問** 申し込みから利用までの手続き方法について問う。

**答** 利用者、事業所及び市町村は、国が構築した「こども誰でも通園制度総合支援システム」を活用して運用する。保護者は同システムを通じて利用申請を行い、市は要件を確認の上、認定を行う。認定後は、同システムから事前面談や利用予約を行い、利用する流れとなる。

**問** 障がいのあるこどもを持つ保護者が利用できない場合の対応や代替案の案内について問う。

**答** こども誰でも通園制度では、障がい児を受入れた場合、基本単価に加え、1時間当たり600円の加算が設けられており、職員配置など受入れ体制の整備に活用できる仕組みとなっている。各施設の受入れ状況は予約システムで事前に確認でき、受入れが難しい場合は、市から受入れ可能な施設の紹介や、ふたば幼児教室、障がい児通所支援サービスなど既存の支援サービスの案内を想定している。

※二次元コードから各議員の配信映像をご覧ください。  
※紙面の都合により一部を抜粋して掲載しています。

## 議案以外の市政全般に関する質問を 一般質問 といいます。

# 行政に問う!



空き家対策の  
新しい展開について

公明党

大坪 靖



**問** 全国的にも空き家問題が深刻化している。本市の空き家実態調査の結果を問う。

**答** 2017年の空き家件数は906件、2025年は2,472件である。

**問** 空き家対策で重要なことは、発生を抑えることと、適切に管理・活用することである。本市はどのような施策を講じているか。

**答** 空き家バンク制度の活用、無料空き家相談会の実施、老朽危険空家除却補助金の交付などを行っている。

**問** マンパワー・専門知識不足解消のために国が施行した「空家等管理活用支援法人」指定制度の導入について認識を問う。

**答** 現在、当制度は実施していないが、本市では宅建協会や司法書士会等、様々な民間団体と協定等を締結し、官民連携の相談体制を確立しているため、今すぐに必要な制度とは認識していない。

**要望** 空き家は施策によって人口減少対策・後継者対策・まちづくり対策・災害対策が可能になる。解体するための支援も必要であるが、リノベーションによる若者世帯の移住促進など一歩踏み込んだ施策も期待する。空き家を「課題」から「可能性」へと転換し、未来のこともたちのために持続可能な事業を展開することを要望する。

### その他の質問項目

・生涯学習サポート館について



自殺予防の  
取組について

五月会

森 久往



**問** 全国の自殺者数と本市の過去3年の自殺者数また、小中高生の自殺者数を確認する。

**答** 令和7年の全国の自殺者数は、1万9,097人で、統計のある1978年以降で初めて2万人を下回り最小である。次に、本市の自殺者数は、令和4年は37人、令和5年は19人、令和6年は26人である。また、令和7年における全国の小中高生の自殺者数は532人で過去最多である。

**問** 小中学生の自殺予防に関する考え方と本市の取組について聞く。

**答** 各学校において、自己肯定感や自己有用感を育む「発達支持的生徒指導」に取り組みとともに、各校配置のスクールカウンセラーを中心に「SOSの出し方教育」を実施している。また、教職員に対しては、子育て健康部と共同で「SOSを受け止めるための実践型研修」も実施している。さらに、専門家等の教育相談体制の連携強化を進めている。

**問** 生きづらさを抱える人に早期対応するゲートキーパー研修の受講者数と内容を聞く。

**答** 市職員990人、教職員803人、市民788人。研修内容は、伴走型支援に携わる職員等や相談支援に携わる職員等対象ごとに担うべき役割に応じた研修を実施している。

**要望** 第2次のち支える和泉市自殺対策計画のさらなる推進と、生きづらさから克服した人にもゲートキーパーを担ってもらいたい。



道路交通法改正に伴う  
自転車通学の安全確保  
について

市民未来の会 大浦 まさし



**問** 今回の道路交通法の改正により、16歳以上の者による自転車の交通違反について交通反則告知書（青切符）が導入されることから罰金の対象となるのは16歳以上の者で、中学生は対象とならないとのことだが、16歳未満の者が交通違反をすると原則として警察による指導警告が行われる。このような場合、学校からの指導や、学校として何らかの処分を考えているのかを聞く。

**答** 悪質・危険な違反等については、何より大切な命を守る観点から、再発防止に向け、各学校で毅然とした指導を行っている。

例えば、自転車を利用する生徒が交通違反や悪質・危険な行為を行い、学校がその事実を把握した場合は、当該生徒への指導及び保護者への連絡による家庭での指導依頼に加え、自転車通学許可を取り消す等の措置を行うこともある。

**意見** 自転車の交通違反は家庭内教育の問題の範疇であり、違反は個人の違法行為であり、個人に帰属する。学校には「教育指導上の義務」はあるので交通安全指導や、自転車利用のルールへの周知の必要はあるが、個々の運転操作や違法行為まで監督する義務はない。そこは保護者や地域にも理解してもらう必要があると意見する。



不正投票の  
防止について

無会派 北川 美穂



**問** 入場整理券を持たずに期日前投票所で投票する場合、身分証明書の提示を求めているが、なりすましなどの不正を防止するため、必須とすることはできないか。

**答** 身分証明書を忘れた方や、身分証明書を所有していない方など、投票できなくなる選挙人が生じることから必須としていない。また、公職選挙法においても、身分証明書の提示は必須ではない。

**問** なりすまし行為を防止するため、どのような対策をしているのか。

**答** 各投票所内に、なりすまし投票が違法であることをの注意文を掲示している。

**要望** 注意文の掲示を見た記憶がない。投票者の目に留まらなければ、周知の取組としては十分とは言えないのではないかと。より目に留まるよう、周知の在り方について検討を求め、不正があるのではないかと疑念を持たれること自体が、選挙への信頼に悪影響を及ぼす要因となる。初めて投票を経験する若い世代にとっても、選挙が安心して参加できるものであるかどうか、その後の政治参加にも大きく影響する。今後より一層、市民が安心して投票できる環境づくりと分かりやすい周知・情報発信に取り組むよう要望する。

**その他の質問項目**

・民法等改正による共同親権等への本市の対応について



企業版ふるさと納税  
について

大阪維新の会 岡田 勉



**問** 企業版ふるさと納税は地方創生プロジェクトに対して、企業が寄附を行い法人関係税が最大で寄附額の約9割軽減される制度である。企業版ふるさと納税の人材派遣型については、専門的知識を有する企業の人材を自治体へ派遣する人件費相当額を含む事業費の寄附が行われるものとなる。本市に縁・ゆかりのある企業と連携することが近道ではないかと考える。社長が本市出身者でありIT人材のキャリア支援など幅広い分野で活躍しているレバレッジズ株式会社にアプローチを試みている。人材派遣型の活用に関する考え、縁・ゆかりのある企業への取組に対する今後の考えを問う。

**答** 令和7年度は主に包括連携協定を締結する事業者などへの働きかけを実施したところだが今後、本市出身の経営者などの情報収集と働きかけに努めていく。

**意見** 人材派遣型はDX、UI・Jターン、産業支援、官民連携事業など専門人材が欲しい自治体と人材育成、CSRの高度化が必要となる企業にとって全国的に注目されている。首都圏人材の本市出身者ネットワーク構築はメリットがある。モンベルやサイボウズも本市にゆかりがある。企業版ふるさと納税制度は直接収入が増え新たな産業育成にもつながる制度である。今後期待する。

## 和泉市議会委員会条例の一部を 改正する条例制定

令和8年4月からの機構改革に伴い、厚生文教委員会所管の「子育て健康部」から「こども・健康部」へ名称を変更する議員提出議案を提出し、全会一致で可決しました。

## 議会改革『反問権』を導入

和泉市議会会議規則の一部改正により、本会議、委員会等で市長など答弁を行う者が、議員・委員の質疑又は質問の趣旨及び内容を確認するための「反問権」を導入しました。

## 『議会改革の歩み』を ホームページに掲載

和泉市議会では、さまざまな課題に向き合いながら、議会改革に取り組んできました。このたび、これまでの改革の経緯を「議会改革の歩み」という冊子に取りまとめ、市議会ホームページに掲載しました。

詳しくは市議会ホームページをご覧ください ▶



## 人事案件に同意

次の方を任命することについて、議会として同意しました。

### ■教育委員会委員

【任期：令和8年3月18日～令和12年3月17日】

(新任) あじろ のりこ 網代 典子 氏 (大阪府東大阪市)

## 次回定例会の案内 ▶

どなたでも傍聴できますので、市役所6階までぜひお越しください。

〒594-8501  
和泉市府中町二丁目7番5号  
和泉市役所 議会事務局 総務課  
電話：0725-99-8154 (直通)  
FAX：0725-43-4525

\\ スマホでチェック //

和泉市議会 HP ▶



## 6月定例会 (予定)

月	火	水	木	金	土	日
6/1 13時 議会運営 委員会	2	3	4	5	6	7
8 10時 本会議 (提案説明等)	9	10	11 10時 厚生文教 委員会	12 10時 都市環境 委員会	13	14
15 10時 総務企画 委員会	16	17 13時 議会運営 委員会	18	19	20	21
22	23 10時	24 10時	25 10時	26 10時 本会議 (採決等)	27	28
29	30					

← 本会議 (一般質問) →